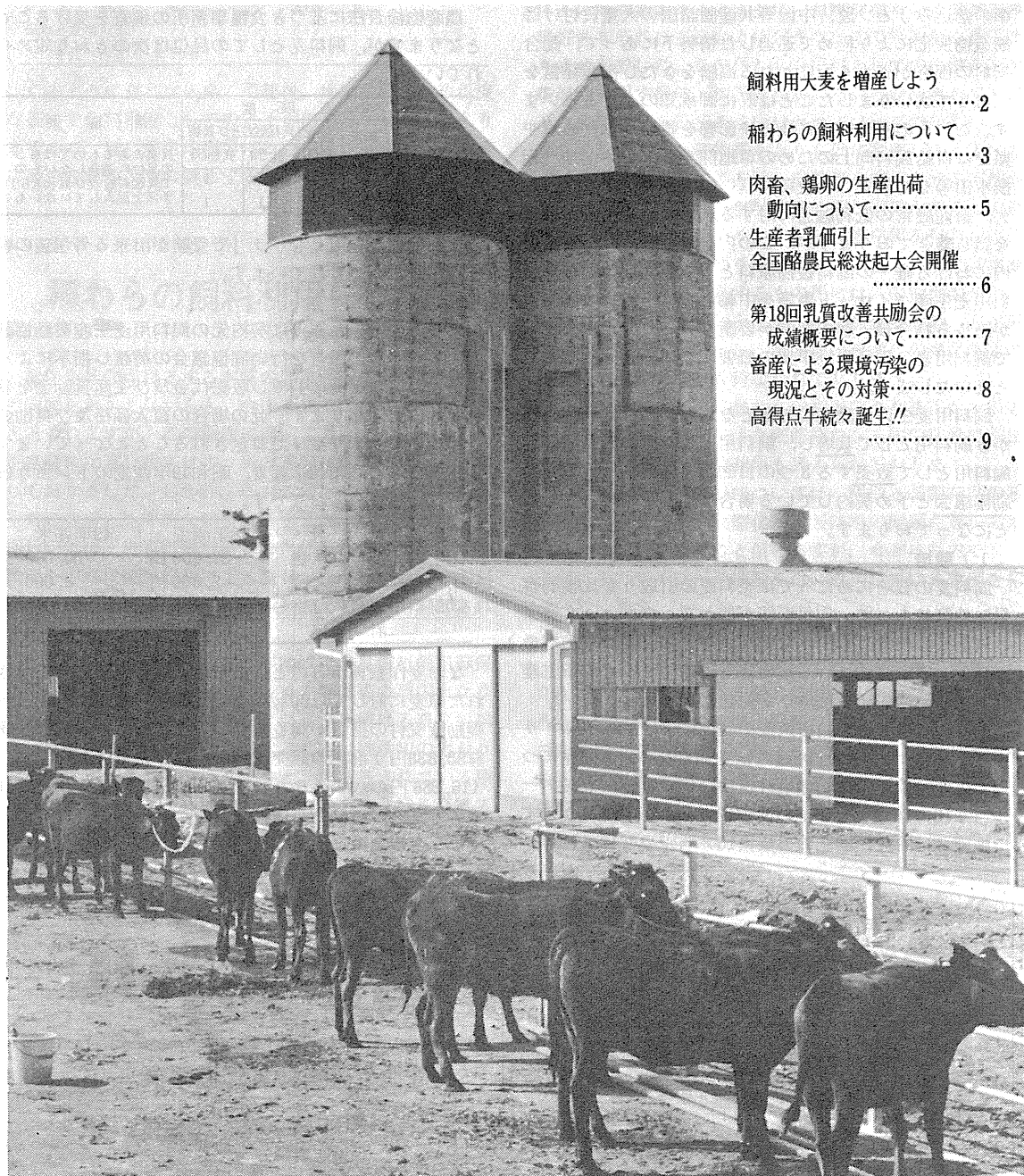


畜産みやぎ

題字
宮城県知事山本 壮一郎

発行所
仙台市錦町二丁目1番40号
法界宮城県畜産会
電話 (62-9180)

編集発行人 大石 一
定価 1部20円
印刷所 KK東北プリント



- 飼料用大麦を増産しよう 2
- 稲わらの飼料利用について 3
- 肉畜、鶏卵の生産出荷
動向について 5
- 生産者乳価引上
全国酪農民総決起大会開催
..... 6
- 第18回乳質改善共励会の
成績概要について 7
- 畜産による環境汚染の
現況とその対策 8
- 高得点牛続々誕生!!
..... 9

県営岩出山牧場

飼料用大麦を増産しよう

飼料用大麦を栽培して奨励金を受ける場合の取扱い

宮城県畜産課

はじめに

配合飼料の穀物原料は、その大半を外国からの輸入に依存してきておりますが、近年における飼料穀物の国際需給は米国における異常気象による大幅生産減（在庫水準の落込み）とソ連、中国等共産圏諸国の大量買付け等構造物変化により極めて逼迫した情勢下にあつて、配合飼料の価格が過去6回にわたる高騰をきたし畜産経営を圧迫してまいりましたことは既に御承知のことと思ひます。これらの畜産経営に及ぼす影響を緩和するため国や県では自給飼料向上のための草地開発事業や休閑地、転換水田等を対象とした牧草飼料作物の定着化促進を図る外、畜産経営の低利融通に対する利子補給等諸般の施策を講じてきておりますが、この内飼料用麦については国内における唯一の飼料穀物原料として昭和46年度以降飼料用麦生産パイロット事業を中軸とする生産拡大の方途が講じられ今後一層の増産が要請されております。そこで飼料用麦の現行奨励事業の概要について述べてみることにいたします。

飼料用麦生産奨励金の対象となる要件としては、当初から飼料用として栽培し、飼料用としての検査を受け、飼料用として販売する3つの目的があり飼料用麦生産奨励協議会と予め契約している場合に限り認められてることになっております。

〔1〕栽培

飼料用麦の栽培にあたっては原料麦の引取りが比較的容易な地区にあつて、作付面積が概ね5ヘクタール（農家栽培面積の集積でも可）以上、生産麦の売渡（契約数量）が15トン以上見込まれる飼料用麦を生産する者（農業生産法人その他の生産者団体）が対象となります。

本県に栽培する飼料用大麦の品種については、ミノリムギ、リクゼンムギ、が適当してしますので種子確保については作付前年中に県産米改良協会に申し込み（10アール当り10～15kg）をし予め準備しておく必要があります。

施肥量は、完熟堆肥の外窒素10アール当り10～15kg

（内追肥 程度）磷8～10kg加里8kgを基準としていますが酸性を嫌うのでPHを6～7程に矯正することが大切です。

〔2〕検査

農産物検査法に基づき食糧事務所の検査を受けることとなりますが、飼料麦としての品位は次のとおり定められています。

項目	最 高 限 度					規 格 外
	水分 (%)	細交 (%)	被害粒 (%)	異種穀粒及び異物計 (%)	異物 (%)	
M	14.0	45	25	11	1	異臭のあるもの又はMSの品位に適合しないもので異種穀粒及び異物を50%以上混入していないもの
S	14.0	100	25	11	1	

なお受検は運用上「バラ」で受検が出来る外包装の場合は古袋が認められています。

〔3〕販売

検査に合格した原麦は契約先の飼料用麦生産奨励協議会に対し所定の報告を行い同協議会の荷渡し指示によって県内の指定工場に引渡し販売代金及び生産奨励金を領することとなります。此の場合の買入価格及び奨励金は種々の条件を勘案して算定されることとなっておりますが、ちなみに昭和48年産麦、昭和49年産麦のトン当り価格を示せば次のとおりです。

区 分	48年産麦	49年産米
(1)生産奨励金	37,000円	50,000円
(2)特別加算金	2,000円	3,000円
(3)飼料用麦買入価格	25,140円	M規格 29,953円
計	64,140円	82,953円

なお麦作振興市町村として指定された地域内で生産された原麦に対しては60kg当り1,800円～2,000円の国庫奨励金交付の措置が講じられていますので（トン当り換算33,338円）前記の販売代金と加算した場合トン当り116,286円の収入となりますが昭和50年産麦については更に協議会の奨励金が増額されることが期待されます。

〔4〕生産麦の流通

牧場用柵には
強くて美しくスマートな
東伸製鋼牧柵を！

製造元 東伸製鋼株式会社
仙台市一番町二丁目7-5 TEL277053
販売元 塚本商事機械株式会社
仙台市北京院二丁目1 TEL214581
代理店 本山振興株式会社
仙台市昭和町6番10号 TEL346221

フランス生れのソフトヨーグルト！

雪印ヨーグル

雪印純種牛乳

雪印乳業株式会社

東北事業部 仙台支店
仙台工場

飼料用麦生産奨励協議会に売渡した原麦は同協議会の荷渡し指示により県内の指定工場に搬送のうえ飼料用として変形加工され畜産実需者(生産者を含む)に配分される措置が出来ることとなっています。この場合の販売価格は昭和49年度産麦を例にとった場合次のとおりになっています。

変形加工形態	単位量目(20kg当り)最高販売価格(円)		摘 要
	正味価格	包装込み価格	
ばん 砕	699	744	(外皮除却割合 12%)
ひ き 割	673	718	
皮むき 圧べん	772	817	
皮つき 圧べん	708	753	

このように有利な価格で売却後、地場消費のため低廉な価格で飼料用麦としての入手が出来るメリットがありますので、特に肥育地帯等においては是非飼料麦の増産に努められるようお奨めする次第です。

(草地飼料係)

稲わらの飼料利用について

石川 英

稲作を基幹作物とする本県の農業構造は、生産調整等の問題をかかえながらも、今後も変ることなく推移すると思われていますが、この稲作に副産する稲わらは、モミの生産量に比し従来は牛、馬の重要な粗飼料として給与しておりました。しかし、年々大型化する畜産経営は高能力の要求と能率的な飼養体系が進み、中でも酪農経営においては、良質粗飼料確保のため草地開発が進み、牧草を中心とした濃厚飼料による飼育が普及し稲わらの飼料利用はないがしろにされ、脱穀後圃場で焼却、棄却されることが多くなって来ました。

しかし水田酪農地域、肥育牛地域での良質粗飼料確保は難しく、ひいては給与が乏しく生理障害の誘因となり大きな損害を蒙り、更には異常な高騰を続ける濃厚飼料により経営の圧迫を来しておることは御承知のとおりであります。これ等を考えますと、焼却等されている稲わらの飼料利用を更めて検討し、その方策を打ち立てることが必要でありましょう。

この稲わらの飼料利用は、古くは石灰処理方法等が研究利用されておりましたが、近年大学、試験研究機関等更に利用方法が研究され、国においても稲わら利用の促進を図る行政措置を講じようとしております。

1 稲わら利用の方法

稲わらの利用は、従来刈取後、ハゼ掛乾燥してから脱穀したもので、すでに乾燥したものであり、これを貯蔵し、必要に応じて細切または長いまま給与しておりましたが栄養分が少く、生理的にあまり必要としない珪素等が逆に多い等問題があるとともに、粗剛な粗セいで消化率嗜好性もそれほど良いとは言えないので摂取量も多くありませんでした。この稲わらを飼料としての価値を高め、嗜好性を増す様に、加工方法がいろいろ研究されてまいり、1)稲わらを石灰あるいはカセイソーダで処理し、組織を崩壊させ、栄養物質をより有効に利用しようとする方法、2)酸で処理する方法、3)酵素を作用させる方法、等があります。これ等化学的に処理し有効化するものに対し、4)稲わらをアンモニア処理し蛋白質を付与しようとするもの、5)糖蜜やその他の栄養物質を添加接着させ、その価値を高めようとするもの更には、6)物理的処理(圧べん等)後栄養物を添加し給与させるもの、7)栄養物添加、乾燥、固型化し、粗飼料の流通にのせようとするもの等機械の開発も行なわれております。

これ等はいずれも乾燥わらの利用であります。最近の省力機械化の導入により副産稲わらも生の状態で産出するので生わらの有効利用も考えられております。

しかし生わらの利用については、刈取と調製時期の重複競合、調製施設の大型化、調製技術の問題点等が考えられ、今後普及されると信じてますが、今回は県内ですでに稲わらのサイレージ調製を行い成功している事例を紹介いたします。

2 乾草稲わらサイレージ

宮城県酪農農業協同組合佐沼集乳所に勤務する高橋良文氏は、かねてより生産費の低減と乳牛の健康管理を図ろうと積極的に草地開発、飼料作物作付の普及等自給率の向上を中心に指導してきましたが、限られた面積を対象として規模の拡大を図る酪農家には稲わらの利用を積極的に進めようと、昭和47年頃より稲わらサイレージ調製方法を試みました。ねらいは、飼料価値を高めるため

ARワクチン

(豚ポルデテラ感染症予防液)

北研の豚用製剤

新 発 売

販売・山形市城西町2丁目3-2

北里薬品産業株式会社

文献謹呈

東北出張所

TEL山形(0236)(24)0111



いつもフレッシュ!!

明治
牛乳

明治乳業

粗セニを柔らかくし採食し易い状態とし添加物を吸着させ嗜好性と栄養価の向上を図ろうとしております。

3 調製方法

1)材料

先ずサイロは直径1.5m深さ3mの円形サイロを用意し詰込んでおりますが、これに要する材料は次のとおりです。

- ①乾燥稲わら 800kg (土の付着していないものを用いること。)
- ②糖蜜飼料 100kg
- ③ウイスキー蒸留液 1,000ℓ
- ④水 800ℓ

2)積込み

まずサイロの内側に30cm毎にマジック等で目印をつけます。これは茎が中空であるうえ、空気の保有率が高い稲わらを、空気穴のない様充分な踏込と、添加物をむらなく撒布してゆくため、段階的に行なわなければならないので、その目印とします、これにK鉄工の稲わら圧ベン機で粗セニを柔らかくした稲わらを40cm位まで充分な踏込みと糖蜜飼料を撒きながら積込みます。この上にウイスキー蒸留液と水を100:80の割合で混合したものを、むらなく撒布し再び踏込みます。30cmの印まで沈下したなら再び同じ様な方法で積込み踏圧、撒布を繰返し上段まで積込んで行きます。

なお乾燥稲わらあるいは、細切稲わらの積込は、圧ベンした稲わらより空気の保有率は高く、かつ粗セニも粗剛、消化率も低いので、圧ベンして実施いたします。参考まで、稲わらと圧ベン稲わらの成分、消化率を比較しますと次のとおりです。

第1表 稲わらの飼料成分(%) 畜試報26:63(昭48)畜産の研究28:429.536(昭49)による

	水分	粗蛋白質	粗脂肪	可溶性無氮素物	粗セニ	粗成分	備考
稲わら	12.4	4.0	1.7	38.0	29.0	14.9	
圧ベン稲わら	10.08	4.45	1.76	37.72	31.36	14.63	

第2表 稲わらの消化率と可消化養分(%) 同上

	粗蛋白質	粗脂肪	可溶性無氮素物	粗セニ	DCP	TDN	デンプン価	備考
稲わら	6	7	44	64	0.2	37.3	20	
圧ベン稲わら	38.0	42.7	53.4	65.9	1.69	44.2	24.9	

3)ウイスキー蒸留液と糖蜜飼料の添加

蒸留残液100ℓに対し水80ℓをよく混和し30cm毎に、むらなく撒布しますが、別々に散布するとむらができるので必ず混和することです。またサイレージ調製材料に可溶性無氮素物が少いので糖蜜飼料を添加します。この場合蒸留液に糖蜜飼料を溶かし添加するのが理想ですが溶けにくいので稲わら30cm踏込に対し10kgを平均に踏込みながら添加します。

4)重石

ふつう稲科牧草等のサイレージには積込み量の10%豆科で5%の重石が必要とされていますが、稲わらサイレージは15%位の重石が必要の様です。沈下は20cm程度で踏込の時にできた小さな空気穴をつぶす位ですが、この重石の不足と踏圧を充分行なわないと開封後に二次発酵が起り易いので調製上留意すべき大きな点であります。

5)調製上の留意点

前述した留意点をまとめて見ますと、

- ①土のついていない稲わらを使用すること。
- ②ウイスキー廃液と水は必ず混合してむらなく撒布すること。
- ③糖蜜飼料はまんべんなく添加すること。
- ④踏込みは充分注意し、高密度に詰込み空気の保有率を低くすること。
- ⑤重石は2tの材料に3,000kg以上の重石をすること。
- ⑥サイロの選定に当り高密度に詰込むことのできる円型サイロ(中・小型の方がカビ発生が少い)を用いた方が良い結果を得る割合が高い。

以上の点を留意して調製すれば3週間位で仕上がります。仕上がりが早いのは蒸留残液に含まれている乳酸が、87.7%もあり、糖蜜飼料を約4%も添加してあるので発酵がスムーズに行なわれるからだと思われます。

6)給与

稲わらサイレージは嗜好性に富み、1日30kgも採食する牛もおります。しかし栄養のバランスを考え1日1頭最高15kgにとどめ、牧乾草、濃厚飼料とを組合せ給与しております。

三 鶏糞 無臭乾燥機 SD-100
菱 牛糞 SD-400 SD-700

三菱機器販売(株) 仙台支社

仙台市原町若竹字下二十町谷地102-2
LET (0222) 94-3281(代)

無臭乾燥機の原理
SD 100K型 } の場合
SD 700型 }

この様に稲わらを有効に利用し始めたのが、昭和47年9月頃からで、組合員A氏の場合は、利用前平均乳脂率3.42%のものが利用後は3.75%と上昇がみられT氏の場合も同じ様な結果を見ております。また種付についても1~2回で殆んどの牛が受胎し経営上相当のプラスを見ております。

粗飼料不足によって悩まれている方々には是非お進めしたい稲わら利用の方法と言えましょう。材料に用いるウスキー蒸留残液は、簡単に入手出来ませんが系統農協連等に相談して見て下さい。なお成分については図のとおりです。

第3図 蒸留残液の成分表

	水分	粗蛋白質	粗脂肪	粗セルロース	粗灰分	可溶性無窒素	DCP	TDN
可消化成分	67.63	7.89 (10.93)	2.25 (3.12)	0.06 (0.11)	3.01	9.12 (15.20)	7.98 (8.63)	22.22 (27.60)
消化率		73	72	56		60		

※()内は北海道農試発表による

第4図 ウスキー蒸留残液中の酸の性質及び含有量

	濃縮液中		遊離酸中	
	濃縮液中	遊離酸中	濃縮液中	遊離酸中
乳酸	0.918	87.7	ピメリン酸	0.003
フェール酸	0.008	0.7	スベリン酸	0.005
コハク酸	0.015	1.4	その他 C ₁₁ C ₁₂	0.033
マレイン酸	0.060	5.6		

(県畜産開発公社 大郷牧場長)

肉畜、鶏卵の生産出荷 動向について

宮城県畜産課

1 肉豚の出荷動向

49年(1~12月)の県内における肉豚出荷は上半期は前年対比で125%と伸びたが、下半期からやや伸びが低下し、年間出荷頭数は33万頭と前年より115%の出荷増となっている。今後の出荷動向については、子取り用めず豚頭数の伸び悩みから子豚生産頭数は横バイで推移するとみられるので、50年上半期における県内肉豚出荷は前年の伸び率より低く、全国的には前年対比100を切るものと予測されている。

肉豚出荷動向予測(肉豚生産出荷動向調査より)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月
宮城県	前年同月比	101%	101%	100%	104%	105%
	頭数(千頭)	29	29	30	30	30
全国	前年同月比	95%	98%	97%	96%	94%
	頭数(千頭)	1.132	1.205	1.280	1.235	1.260

2 肉牛出荷動向

県内の49年肉牛出荷頭数は29,886頭で前年比121%に伸びているが、このうち専用種は12,410頭で前年対比92%に減少した反面、乳用種(乳用雄牛、乳廃牛)が17,476頭で156%の伸びを示しており、特に乳用雄肥育牛出荷が183%と大幅に増加し、乳用種出荷が全体の59%を占めている。又子牛価格の下落を反映して、49年4月頃から乳用子牛のと殺が増加し前年比252%の1,020頭が出荷と殺された。

50年における肉牛出荷の見通しは3月頃までは、と殺制限等による特越しもあって出荷は前年同期を上回るものの、それ以降は乳用雄牛については前年の素牛導入が激減しているところから出荷の伸びは急速に鈍化し、下期には前年対比で3割程度の落込みが予想され品薄状態になるものと見込まれる。専用種についても上期は前年並みの出荷が見込まれるが、下期は減少するものとみられ、全体的に乳用種出荷が低下し、専用種は横バイとなり出荷頭数は前年をかなり下回るものと予測される。

なお素牛の流通は価格の回復ともなって最近ようやく活発化してきたが、素牛の生産状況は乳雄牛については全般的な乳用種の減少傾向から伸び悩みがみられるものの、専用種の生産は前年よりかなり増加する見込みである。

3 プロイラー

県内プロイラー生産は農協系統、商系とも委託契約生産が進展し、飼養規模拡大も急速に進み近年大幅な増加をみたが、1昨年からの需要停滞を反映して過剰生産基調となり価格は長期的に低速している。

本県の49年における出荷実績は6,853千羽で前年対比117%に伸びているが、その伸びは鈍化してきている。本年の出荷見通しも上期は前年をやや下回る出荷が予想されるが、下期は回復し、年間としては前年を僅かに上回る程度の出荷が見込まれる。

酪農経営に画期的な新鋭機登場

ノボノエーサー
稲わら飼料調製機 ◀ Hasser ▶

株式会社 **五十嵐商会**

仙台市中央三丁目5番14号

総合養豚事業にとりくむ
サイボクグループ

★ (株)サイボク
東北牧場

取締役社長 笹崎龍雄

取締役場長 大角宏一

宮城県栗原郡高清水町影の沢 TEL (022858) 2141

4 鶏 卵

県内の鶏卵生産出荷は48年までは毎年10%以上の伸び率が推移してきたが、49年になって過剰生産にともなう生産調整対策の強化によって、3,000羽飼養規模の増羽が抑制されたことと、昨年卵価低迷による小規模経営の飼養廃止等により、49年5月現在の1,000羽以上層の成鶏めす羽数250万羽が49年11月時点の調査で12.6%減少し218万羽となっている。

鶏卵生産量は29,400トンで48年より103%と僅かに伸びたが、50年の生産見通しは生産調整の継続実施もあって前年対比99%の29,280トンと見込まれており、全国の生産出荷計画においても、飼養羽数が前年比96.8%に減少し、鶏卵生産量は97%と予測されている。

(肉畜課)

生産者乳価引上
全国酪農民総決起大会開く

宮城県生乳販売農協連

日本酪農政治連盟(戸谷義次委員長)主催により生産者乳価引上げ全国酪農民総決起大会が2月20日午前11時から東京、日比谷公会堂で開かれた。大会は関東勢を中心に全国から「要求貫徹」のハチマキ姿の3,000人の酪農民代表が会場を埋めつくした。

先ず戸谷委員長が主催者を代表して「乳価は昨年4月(加工原料乳)と7月(飲用乳)に上ったが、えき、資材、労賃等の高騰により酪農を続けることができず多くの同志が脱落し、酪農をやめていく現状にある。これは政府の施策の結果である。安心して生産し、喜んで消費できる対策を強力に要請していこうと訴えた。

次に議長選出後秋山酪政連幹事長の情勢報告、来賓祝辞として近藤鉄雄氏(自、山形)角屋堅次郎氏(社、三重)小笠原貞子氏(共、北海道)相沢武彦氏(公、北海道)稲富稜人氏(民、福岡)の各党代表が発壇、次いで全国指定団体乳価対策委員長田代清氏、酪政会の松垣徳太郎氏があいさつした。ついで議事にはいり、
第1号議案 生産者乳等大幅引上げに関する決議

その1 飲用向原料乳価格大幅引上げ要求について

(提案者 河上博亘氏 千葉)

その2 昭和50年度加工向原料乳保証価格大幅改訂について(提案者 清野金雄氏 北海道)

その3 牛肉価格安定対策の整備強化について(提案者 武田 誠氏 宮城)

第2号議案 酪農基本対策の即時確立に関する要請

(提案者 井原輝一氏 愛媛)

以上の議案を提案、いずれも力強い白熱した賛成意見統出のうち満場一致の大拍手で決議した。

最後に次に掲げる宣伝と9項目のスローガンを力強く採択した。

宣言 昂進してやまぬインフレ下に、われわれは生乳生産確保維持のため、全力を傾けて今日に至ったが、打ちつづく労賃、諸資材の高騰により酪農家の減少から遂に生乳生産も2年連続の減産となった。加えて昨秋と正月の2度にわたる飼料の暴騰は全酪農民の経営存続すらおびやかすに至った。よって、われわれは、ここに総決起し、生乳生産維持出来得る生産者乳価獲得まで、不屈の精神と固い団結をもってあくまでも闘いぬくことを誓うものである。右宣言する。

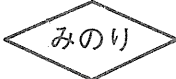
一大会スローガン一

- 1 物価、労賃、飼料の値上りに生産者乳価をスライドさせよ!
- 1 飼用向生産者乳価キロ25円以上引上貫徹!
- 1 政府の労賃評定の不平等を即時是正せよ!
- 1 加工向原料乳の再生産を保証する価格に改訂せよ!
- 1 牛肉の輸入絶対反対!
- 1 輸入バター、脱粉の還元乳絶対反対!
- 1 牛乳乳製品国内完全自給の基本政策を確立せよ!
- 1 自給飼料大增産対策を樹立せよ!

午後1時半、閉会后、ただちに2班に分れてメーカーの明治、森永、雪印、協乳と農林省、大蔵省、国会、各政党へ決議実現を強く要請した。

大会後記

2月25日、全国農協中央会は加工原料乳について要求額を決定した。それは保証価格は1キログラム当り102円98銭と現行同70円2銭に比べ47%アップの要求となっている。この要求額は全中が独自の調査によってまとめ

飼 料 は  みのり

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー用配合飼料 肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号
TEL 石巻 02252(5)4171~4

畜産の薬品・器械

何でも揃ふ専門店

仙台市上杉三丁目3-8
東北獣医薬品株式会社
TEL (25) 7338

支店 登米郡迫町佐沼下田中
TEL 迫(2)2278

支店 山形市小白川町4丁目
TEL 山形(3)9909

たもので生産費所得補償方式により昨年の労賃上昇率、飼料代の値上がり等を反映したものとなっている。全中は理事会で正式決定後3月末の政府決定に向けて要求闘争を組む。

同25日、飲用向け乳価について、中央酪農会議(宮脇朝男会長、酪農の指定生乳生産者団体で構成)は1キログラム当たり138円36銭とする要求案をきめた。

これらの要求に対し政府は加工原料乳保証価格を3月中旬から畜産振興審議会を開いて決めるが酪農経営が苦しくなっていること理解しているものかなりの難行が予想される。

又、飲用乳価についても、要求通りとなるとメーカーの加工料や販売店の手数料も増額されるのを見込めば200cc1本につき20円値上りし現在47円の家庭配達の子牛乳代は67円となり、消費者にそっぽをむかれることになるとして乳業メーカー側も生産者側も頭を痛めている。

第18回乳質改善共励会の成績概要について

宮城県畜産課

第18回宮城県乳質改善共励会表彰式が昭和50年1月31日勾当台会館に於て宮城県知事および県議会議長、関係団体、会社等の指導者および優良酪農家など約150名の参会を得て次の次第により盛大裡に開催され、特に乳質改善に優秀な成績であった団体および個人等についての選考経過の内容について詳しく述べ今後の乳質向上の参考に供します。

1. 第18回乳質改善共励金

第一部 表彰の部

第二部 特別講演

「本県における酪農の現況と酪農経営について」

宮城県畜産課長春日 博氏

2. 選考経過の内容について

今回の乳質改善共励会は昨今における乳質の重要性に鑑み県内酪農家総参加のもとに、特に乳質が変化しやすい昭和49年5月から10月までの6ヶ月間にわたって実施した。本共励会の実施にあたり参加対象は宮城県生乳販

売農業協同組合連合会に生乳を出荷している構成員10団体を対象とする第1部と各団体の集乳グループ195集乳路線を対象とする第2部と特に乳質改善に功績が顕著であると認められる個人を対象とする第3部にわけ、第1部、第2部においては細菌数(ブリード法)、抗生物質(TTC法)検査による乳質検査と食品衛生法による行政措置に基づく検査成績及び第3部においては各生産者団体から推せんされた調書により書類審査をした。

審査の概要は次のとおりでした。第1部において細菌数の平均は生乳1cc当り439万、上位入資団体の細菌数は238万で極めて良好でありました。県全体では400万以上が約70%、以上が約30%認められた。なお、昭和48年度の成績は細菌数400万以下が約60%、以上が40%と比較すると大幅に向上したあとが見られた。抗生物質については1件の検出もなかった。これは抗生物質使用に際し、指導各位の適確な指導と酪農家の常日頃のご努力の賜と思います。又食品衛生法、特に細菌検査について何らの指摘事項がなかったことは誠に喜ばしいことあります。第2部において、上位10位までの細菌数平均が97万と極めて優秀な成績であり、第2部全体の成績についても第1部の成績と同様抗生物質、食品衛生法による検査等についても、いずれも良好な成績であった。第3部の功績賞については、各生産者団体から推せんされた個人で地域の乳質改善に尽力し功績のあった酪農家で名実共に本県酪農のリーダーシップな方々であった。

以上のとおりで審査の結果は、第1部、第2部とも各々最優秀賞1点、優秀賞2点、優良賞7点計20点、特に第2部においては、入賞に次ぐ成績3点を努力賞として選抜した。今回授賞した生産者団体、集乳路線グループ酪農家は日常の生乳取扱い、乳質管理についても、いずれも優秀な成績であり、これはそれぞれの自主的な努力はもちろん、指導者各位の熱心な指導の結果と思われま

す。特に今回の共励会期間中に感じたことを2、3申しますと、本県の集乳方式はローリー集乳が約70%にも達し今後も推進される方向にあるので酪農家の方々もこうした認識の上になって1人1人がローリー集乳による合乳の連帯責任の重要性を自覚され、なお一層の乳質改善に努力するよう切望します。

畜産施設設計コンサルタント

〔KK〕 山本設計事務所

仙台市柏木3丁目2の28

TEL (0222) 33-6028

今日の活力! 明日の健康!

全酪牛乳



全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

細菌数については1部規格外のものも見受けられたが、これらは概してミルカー等の点検、洗浄等に不備な点が認められる。このことが乳質の低下の主な原因となるので、各自が更にミルカーの取扱いに注意し、一層の乳質向上に努力されるよう希望します。

乳質改善については従来から種々対策等配慮してきたが、昭和49年度からの生乳汚濁防止対策並びに生産者団体によるペナルティー等による細菌数400万以上に対する対策により乳質が急速に改善向上されたことに目をみはるものがあった。しかしながら最近、乳脂肪分及び無脂乳固形分の不足する生乳が時折り見受けられ、特に集乳がローリー労式によるものについて乳成分の低下しているものが見受けられた。これらの原因についてはいろいろ推測されるが、必ずしも明確ではない。しかし、牛乳本来の品質維持のためにも規格内の成分保持は当然必要なものである。

今後細菌数のみならず、乳成分保持にも一層認識を深められ、乳質向上に努力され「宮城のフレッシュ牛乳」を生産し、本県酪農の充実と発展を期されるよう希望します。

第18回乳質改善共励会受賞者

第1部

- 最優秀賞 宮城県酪農農業協同組合
- 優秀賞 本吉郡酪農農業協同組合
- 〃 仙台酪農農業協同組合
- 優良賞 栗原郡酪農農業協同組合
- 〃 蔵王酪農農業協同組合
- 〃 宮城県経済農業協同組合連合会
- 〃 宮城県酪農農業協同組合連合会
- 〃 登米郡酪農振興農業協同組合
- 〃 宮城県近代化酪農農業協同組合連合会
- 〃 遠田郡酪農農業協同組合

第2部

- 最優秀賞 宮城県酪農農業協同組合 大張路線
- 優秀賞 宮城県酪農農業協同組合 新田路線
- 〃 蔵王酪農農業協同組合 村田南路線
- 優良賞 宮城県酪農農業協同組合 大沢路線
- 〃 宮城県経済農業協同組合連合会 蔵本路線

- 〃 宮城県酪農農業協同組合連合会 瀬峯路線
 - 〃 栗原郡酪農農業協同組合 姫松路線
 - 〃 宮城県酪農農業協同組合連合会 石巻路線
 - 〃 本吉郡酪農農業協同組合 歌津路線
 - 〃 仙台酪農農業協同組合 南 路線
- (酪農係)

畜産による環境汚染の現況とその対策

宮城県畜産会

1 畜産による環境汚染が問題にされるわけ

近年、畜産農家の家畜を飼う頭数規模が大きくなり、昔のように、農家が持っている水田や畑だけでは、家畜の排泄するふん尿を還元することは非常に難しくなってきた。又作物の作り方も化学肥料に大ききたより人手のかかるふん尿の肥料としての利用には、農家は余り乗り気にならないのが現況のようです。その結果、家畜ふん尿の野積やタレ流しの状態が一部に認められ、周辺の住民から苦情を持込まれるケースが多くなっており

ます。他方、法令等による公害の取締りも、年ごとにきびしくなり無放任の状態では家畜を飼うことが許されなくなってきた。

2 畜産による環境汚染の発生状況

県は、家畜を飼う場合、隣近所に余りめいわくのかからないようにさせるためいろいろなふん尿処理施設に対する助成事業を進めてまいりましたが、これらの一環として家畜を飼っている農家の汚染状況がどうなっているかを調査したり、正しい処理をさせるための巡回指導を実施し、その結果を下の第1図から第4図のようにとりまとめました。

第1図は、汚染の原因になっている家畜を調べたもので豚(51.3%)が最も多く、次いで肉用牛(20.3%)、採卵鶏(13.5%)、乳用牛(12.2%)の順で、ブロイラーが最も少ない。



NEP

純生卵

「生産から販売まで」

(株)フラワー食品仙台営業所

TEL(0222)(92)6371

中新田GPセンター

TEL(022296)(3)3714

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事

さく井工事 畜舎工事

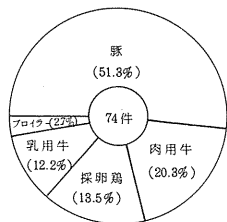
ポンプ工事 設計・施工

水処理工事

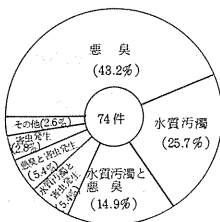
株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地
電話(0222)932461

1 家畜別汚染問題発生状況

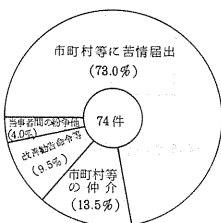


2 汚染別発生状況

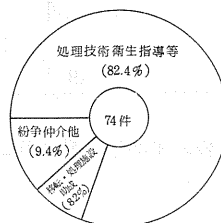


第2図は、汚染状況の内容ですが、悪臭(43.2%)が最も高く、次いで水質汚濁(25%)である。他に悪臭、水質汚濁、害虫発生等の複合された汚染がみられますが、要するに悪臭と水質汚濁が、畜産による環境汚濁の大宗を占めている。

3 汚染問題の処理状況



4 汚染問題発生農家に対する市町村等の実施した指導内容



第3図及び第4図は汚染問題の処理状況や指導内容等をあらわしたものでありますが、市町村や保健所、家畜保健衛生所等に苦情として持込まれるケースが多く、全体件数の73%を占めている。又市町村や県の関係機関が直接的に紛争(13.5%)や改善命令(9.5%)を出す場合もありますが、厳格な意味においては、畜産による環境汚染問題の大部分は、公害問題として取扱われるものであるかどうか、関係者の間でも意見がまちまちであり、現段階では市町村、県関係出先機関等の仲介、指導等により苦情問題が処理されている現況であります。

3 防止対策の基本的考え方

- (1) 住居が多く集っているところの畜産農家で経営を続けることが困難なものについては、住宅地から離れた場所に畜産団地をつくり共同で家畜のふん尿処理をする。
- (2) 畜産農家と無家畜農家とのつながりを強めると共に、ふん尿の農地還元に必要な機械施設を整備し、一貫した機械化体系による部落ぐるみの農地還元を進める。
- (3) 作物ごとに堆きゅう肥、特に水稻に対する施肥基準を決め、水田への還元を促進する。
- (4) ふん尿の処理量を少なくするため、十分な前処理を行う。
 - 1) 畜舎内でふん尿が分離できる構造にする。
 - 2) 畜舎内での飲雑用水とふん尿との混入しないよう別排水とする。又尿汚水の排水路や貯溜槽等に

雨水が入らないようにするなど汚水の発生量を少なくする。

- 3) 浄化処理方式や土壌蒸発散方式等で処理する場合は、固液分離機、砂濾床等で前処理を行い処理施設に対する負担を軽くする。

以上のとおり、汚水防止のポイントを簡条書的に整理しましたが、最も大切なことは、いかに高級な処理施設が整備されても、畜産農家自家が自からの責任でふん尿を処理するという自覚と処理に当たっての創意工夫の努力が欠けると、十分な処理結果が期待され得ないことをくれぐれも留意する必要があります。

(畜産環境整備係)

人の動き 2月1日

宮城県経済連

新	旧	氏名
総合技術課長	畜産課長	松永 剛
畜産課長兼畜産センター所長	畜産センター所長	手塚乙彦
岩沼出張所長	飼料課	半沢 祐

高得点牛続々誕生!!

5ヶ年計画による輸入ホルスタイン種雌牛導入事業終わる!

宮城県畜産農業協同組合連合会

はじめに

本事業は本県の乳用牛ホルスタイン種の改良増殖の一環とし、又、昭和44年度と45年度にカナダより輸入した、ローマンデル、シャリーマ、モニター号とロイスデール、サムソン号、2頭の種雄牛を効率的に利用する見地より、ホルスタイン改良同志会を主体に、宮城県並びに町村、ホルスタイン協会等酪農諸団体の絶大なる御支援のもと県畜連が事業主体となり宮城県輸入種畜導入事業実施要領により、昭和45年度より5ヶ年計画で実施したもので、ここに本年度を以って事業を完了したので大要を報告致します。尚、絶大なる御支援、御協力を賜りました、関係団体、並びに各位に対し深甚なる敬意を表します。

1 本事業の目的

産乳、産脂の能力等経済性の高い種畜を輸入し、本県乳用牛の改良増進を促進し、もって経営の安定と効率的利用により、本県改良基礎種畜の確保を図る目的にて実施しました。

2 輸入種畜の規格要件等

- 1) 生後概ね15ヶ月以上のホルスタイン雌牛であって輸入国登録協会が発行する血統能力証明書で、下記基準以上の血統牛の産子で、同等以上の資格が将来

期待できるものであること。

A 体格得点

- (1) 父母の3代以上に亘る父系VG(85点)以上であること。
- (2) 父母の3代以上に亘る母系GP(80点)以上であること。

B 能力

- (1) 父の近親母牛5頭以上の平均能力および父母の3代以上に亘るベスト能力が乳産、概ね7,000kg以上、乳脂率3.6%以上であること。
- (2) 父の娘牛に「(1)」以上の能力をあげた産子があること。
- (3) 母の能力は「(1)」以上の乳量でベスト能力が5才以降に出現していること。
- (4) 父の産子(娘牛)中56%以上が、GP以上の成績をあげていること。

3 輸入年度と輸入国並びに頭数

年度	アメリカ	カナダ	合計
昭和45年	13頭	6頭	19頭
46	14	2	16
47	11	0	11
48	22	0	22
49	0	18	18
合計	60	26	86

4 購買選定者並びに同行者

敬称、所属省略

回数	購買選定年月	選定考並同行考(含護送考)
第1回	昭45年1月	松本渡, 佐々木林太郎 鈴木正太郎, 鈴木秀吾 我妻信義, 大槻文磨
第2回	昭46年2月 (輸入種雄牛舎)	春日博, 早川薫, 庄司巳代治 古山元産
第3回	昭46年9月	佐藤義光, 太田正巳
第4回	昭47年12月	渡辺正治, 庄司近志, 今野健, 星卓二, 三浦忠止
第5回	昭48年12月	丹野祐一, 高橋亮, 中野英雄
第5回	昭49年10月	鈴木弘之 堀江惣吾, 木村正義 鈴木達雄

取扱商社 三井物産株式会社

5 輸入ホルスタイン種雌牛一覧表

第2表(別表)

6 地区別輸入牛頭数

地区	年度	45	46	47	48	49	合計
白石刈田				1			1
角田伊具			2		1	1	4
名取亘理		2	2	1	1		6
宮城泉仙台		1	4	3		3	11
石巻桃生					2	4	6
遠田		1				2	3
黒川		2	1				3
古川志田		4	2			1	7
加美		1		1		1	3
玉造		5					5
栗原			4	2	8	2	16
登米		3		2	10	2	17
本吉			1	1		2	4
合計		19	16	11	22	18	86

7 輸入牛雌牛の測尺値と高等登録体格審査得点の経過について

第1表(別表)

1) 発育数値の比較

	体高	胸囲	体重
審査発育標準	138.0cm	202cm	650kg
本県改良増殖目標	136.0		580
本県高等登録牛	136.8	189.0	
本県輸入牛(56頭)	144.1	206.4	

2) 高等登録審査得点の成績

最高89.0点 最低77.0点 総平均81.18点

※ 昭和49年体格審査合格牛平均得点

内地78.2点 北海道78.9点 宮城県78.6点

(つづく)

飼い上手 育て上手は……

みのたに……で



動物薬品・獣医器具総代理店

K.K 美濃谷



本店 山形市蔵王成沢
TEL 山形 (0236) (88) 3121
仙台営業所 仙台市山田字羽黒堂5~216
TEL 仙台 (0222) (45) 4306
鶴岡店 鶴岡市本町一丁目8-3
TEL 鶴岡 (0235) (22) 1428

こくておいしい大型びん……

森永
ハイクラウン牛乳

宮酪乳業株式会社

仙台市一番町4番31号 TEL(代) 23-9101